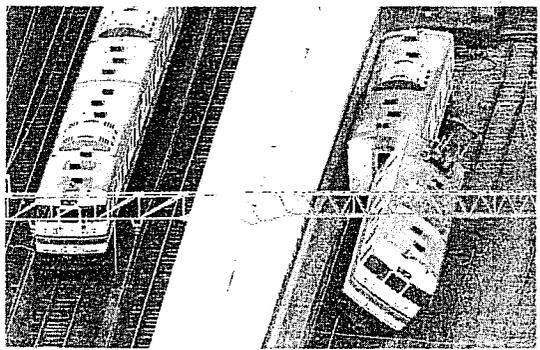
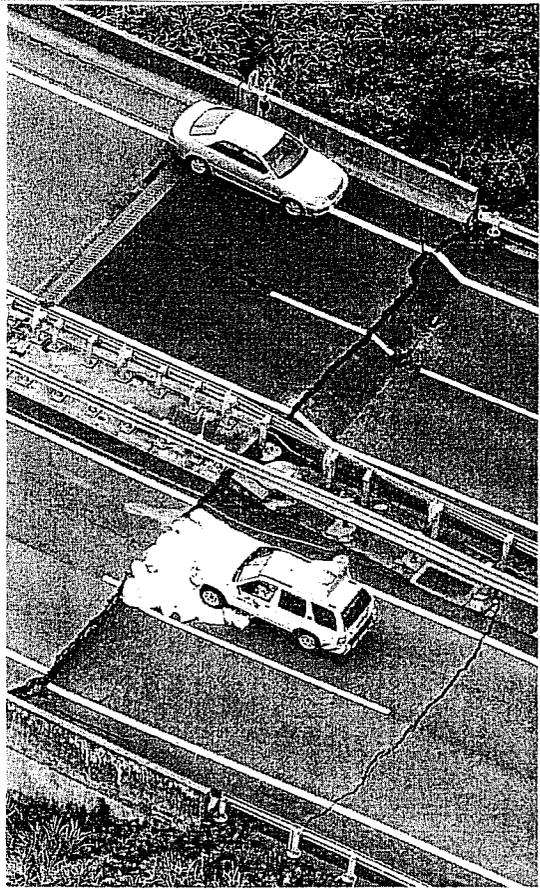


# 陥没 補給路も寸断

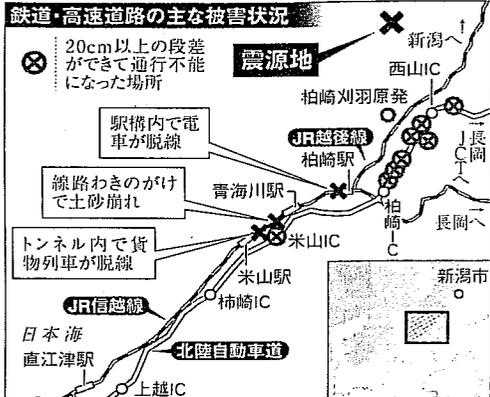
地震による交通機関などの被害状況

道路	新潟県内の北陸自動車道の8か所で路面に段差が生じた。上越市の国道8号線など土砂崩れが発生し、10か所以上で通行止め
空港	新潟空港では、新潟道路などの安全確認で一時使用を見合わせた。午前10時30分過ぎに再開
鉄道	JR信越線の青海川駅でホームの一部や線路上に土砂崩れ。復旧の見通し立たず。上越新幹線は、東京-越後湯沢駅間で一時、折り返し運転
水道	新潟県柏崎市全城の約4万3000戸をはじめ、県内6万戸以上で断水。長野県の2市町も約70戸が断水
電気	新潟県内で最大3万5344戸が停電
ガス	都市ガスは安全確認のため、柏崎市内の3万4000戸で供給停止
電話	固定電話は新潟県内で約500回線が不通。携帯電話は、新潟、長野県内で通信規制を実施

## 断水6万戸 通信規制



●路面上に亀裂が入った北陸自動車道（16日午後1時12分、新潟県柏崎市で、本社ヘリから）一尾四尾崩落  
●脱線したJR越後線普通電車（16日午後5時7分、柏崎駅構内で、本社ヘリから）



## 震災ドキュメント

### 長岡余震6弱

10・13 新潟県中越沖を震源とする震度6強の地震が発生。東京電力柏崎刈羽原子力発電所で、原子炉4基が自動停止

東北、長野、上越新幹線が運転見合わせ。新潟県柏崎市内で停車中の電車が走行中の貨物列車と脱線。信越線が土砂崩れで不通

新潟県が泉田裕彦知事を本部長とする災害対策本部を設置

10・14 北陸自動車道の新潟西IC・糸魚川ICなど新潟、長野県内の3路線4区間が通行止め

10・15 柏崎刈羽原子力発電所の変圧器から出火

11・30 警察庁が埼玉、千葉、警視庁など6警察本部の広域緊急援助隊に、新潟県への派遣を指示

12・00 気象庁が記者会見。今後、震度6弱クラスの余震が起る可能性

12・10 消防署が原発変圧器の火災鎮火を確認

12・20 新潟県内の3万5344戸が停電したと発表

14・24 安倍首相が官邸に到着

15・00 気象庁が地震名を平成19年新潟中越沖地震と発表

15・37 大規模な余震発生。新潟県長岡市などで震度6弱。長野新幹線の上下5本3・5分停車

16・33 安倍首相が自民経済産業相と共に陸自ヘリで柏崎市に到着

17・40 同僚兼柏崎管内の被災状況を発表。全壊家屋は柏崎市が約3000棟、刈羽村が4棟。負傷者は約260人

21・31 上越新幹線の越後湯沢-新潟間で運転が再開され、全線復旧

全国の警察、消防派遣

警察、消防などは、地震発生直後から現地に支援員などを派遣した。警察は16日午前、各警察本部に対し、機動隊員らで構成する広域緊急援助隊の派遣を指示。警視庁は埼玉、千葉、警視本部から約370人の部隊が派遣された。情報通信確保のための簡易通信車なども加わった。総務省消防庁は、東京、富山、福島、栃木、埼玉、石川の6都県と仙台市、横浜市に順次、緊急消防援助隊の出動を要請。航空隊など計12隊、53人が現地入りしている。

京都府で震度4

16日午後11時18分ごろ、京都府府を震源とする地震があり、北海道浦幌町で震度4を観測、東京都内でも震度2を記録するなど、広い地域で揺れを感じた。気象庁によると、震源の深さは約3000メートル、マグニチュードは6.6と推定される。プレート（板状の岩盤）の境界で地震が起きると、地震波が硬いプレートの塊界を伝い、震源周辺より離れた別場所が大々揺れに目撃される。震帯と称される現象もみられる。

各地の主な震度は次の通り。▽震度3 北海道帯広市 青森県陸奥市、盛岡市、宮城県石巻市、福島県いわき市、水戸市

中越沖地震では交通網やライフラインにも被害が出た。

交通

上越新幹線は、午後9時半過ぎまで越後湯沢-新潟間で運転を見合わせ、東北、長野の各新幹線でも地震発生直後に一時運転を中止。計約16万4700人に影響が出た。各新幹線とも17日は始発から平常運転できる見通しだ。

崩れた土砂でホームの一部が覆われたJR信越線の青海川駅。上越-長岡間が通行止めになった。

新潟県柏崎市には地震発生

当時に電線は止まっておらず、けが人などは確認されていない。また、柏崎市内のトンネル内で貨物列車が脱線した影響で、信越線は復旧のめどが立たないままとなっている。

このほか柏崎駅構内では、同駅発新潟行きの越後線普通電車（2両編成）の先頭車両が脱線し、大々揺れたが、けが人などはなかった。

高速道路では、北陸道の8か所、約50・20%の段差ができて、上越-長岡間が通行止めになった。

新潟、長野県内では、携帯電話の基地局の一部で、電波の送受信が一時的に止まり、その間、通信が不能になるといわれるが、通信が集中してシステムがダウンするのを防ぐため、NTTドコモは、新潟県内からかける電話の通話規制や断線防止に実施。かけた回数が増え、7・5%でつながらなくなった。KDDIも最大95%を規制、同県内の人から家族や知人などに連絡を取ろうとしても、なかなか繋がらない状態が続いた。

固定電話では、NTT東日本が、新潟、長野両県で最大約70%の通話規制をした。

電気、ガス、水道

東北電力では、40万・3万の電力が供給できなくなり、新潟県内の3万5344戸が停電。徐々に復旧したが、16日午後10時現在、柏崎市、刈羽村の計約2万5000戸で停電が続いている。全面復旧は17日以降になる見通し。また、柏崎市内では、一帯にガス供給が止まっている。石油資源開発のバイパスで、ガス漏れが生じ、約3万4000戸へのガス供給が停止した。同県内では水道管の破裂も相次ぎ、6万戸以上が断水。柏崎市内では全壊約4万3000戸で給水が止まった。長野県内でも、飯山市と飯綱町で計約70戸が断水した。

通信

新潟、長野県内では、携帯電話各社の基地局の一部で、電波の送受信が一時的に止まり、その間、通信が不能になるといわれるが、通信が集中してシステムがダウンするのを防ぐため、NTTドコモは、新潟県内からかける電話の通話規制や断線防止に実施。かけた回数が増え、7・5%でつながらなくなった。KDDIも最大95%を規制、同県内の人から家族や知人などに連絡を取ろうとしても、なかなか繋がらない状態が続いた。

固定電話では、NTT東日本が、新潟、長野両県で最大約70%の通話規制をした。